

保証書

保証期間内に取扱説明書の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	ミニベンチグラインダー	お買い上げ日	保証期間
	EBG-75M		
お客様	ご住所	〒	
	ご芳名		
	電話	()	
販売店	住所	□ ()	

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります
(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(ニ) 本書の提示がない場合。
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

発売元

藤原産業株式会社

情報サービスセンター：〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1

Tel.0794-86-8200(代) Fax.0794-83-5160

近畿支店：〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1

Tel.0794-86-8210(代) Fax.0794-83-5160

中部支店：〒473-0902 愛知県豊田市大林町17丁目7-16

Tel.0565-25-2227(代) Fax.0565-25-2239

九州支店：〒841-0056 佐賀県鳥栖市蔵上1丁目220

Tel.0942-81-2307(代) Fax.0942-81-2308

鹿児島営業所：〒890-0073 鹿児島県鹿児島市宇宿2丁目22 Bayside marina 101号 Tel.099-285-1748(代)

Tel.099-285-1748(代)

広島営業所：〒731-0137 広島県広島市安佐南区山本1丁目25-11

Tel.082-875-7211(代) Fax.082-850-0311

東京支店：〒333-0842 埼玉県川口市前川3丁目19-9

Tel.048-268-3939(代) Fax.048-268-9191

熊谷営業所：〒360-0216 埼玉県熊谷市西野68-1

Tel.048-577-3292(代) Fax.048-577-3275

札幌営業所：〒003-0021 北海道札幌市白石区栄通15丁目8番36号 Tel.011-374-5528(代) Fax.011-374-5529

仙台営業所：〒984-0038 宮城県仙台市若林区伊在2丁目15番地の1 Tel.022-287-5739(代) Fax.022-287-5766

神奈川営業所：〒243-0206 神奈川県厚木市下川入867-1 アロードーム1階 Tel.046-265-0365(代) Fax.046-265-0022

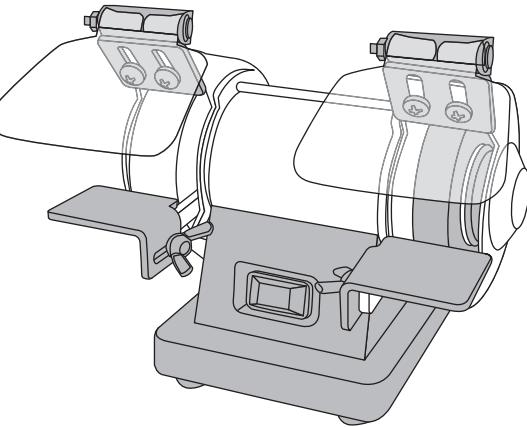
金沢営業所：〒921-8066 石川県金沢市矢木三丁目256 Tel.076-240-3630(代) Fax.076-240-3515

E·Value

EBG-75M

ミニベンチグラインダー

取扱説明書



この度は E·Value ミニベンチグラインダーをお買い上げ賜り厚くお礼申し上げます。

ご使用に先だち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

目 次

1. 安全上のご注意	2~3
2. ミニベンチグラインダーご使用上のご注意	4~5
3. 各部の名称	6
4. 主要機能	6
5. 組立方法	7
6. ご使用方法	8
7. 用途	9
8. 保守・点検	9

注意文の **[△警告]** **[△注意]** **[△注]** の意味について

ご使用上の注意事項は **[△警告]** と **[△注意]** **[△注]** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

[△警告]：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

[△注意]：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**[△注意]**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

[△注]：製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

1. 安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



作業に適した服装!

- 機械の回転部に巻き込まれないよう袖口の開いたもの・ネクタイなどは身につけてください。
- 作業中は保護メガネをご使用ください。また、作業環境により、安全靴、保安帽、マスクなどもご使用ください。



きちんとした服装で作業してください。

気持ちにゆとり!

- いいらいらした気持ちで作業することは危険です。機械はゆとりをもって慎重に取り扱ってください。



湿った場所では使わないでください。

感電事故の防止!

- 湿気はモーターなどの電気絶縁性を低下させ、感電事故のもとになります。雨中、濡れた所、湿った所、機械内部に水や油の入りやすい場所では使用しないでください。
- 万一の感電事故を防止するために、漏電しゃ断器の設置された電源に接続されることをおすすめします。

作業場所の選定!

- ガソリン、ガス、塗料、接着剤などの引火性のある危険物の近くでは、引火または爆発を起こす恐れがありますので、使用しないでください。

騒音防止規制を守る!

- 騒音に関しては、法令および各都道府県などの条例で定める規制があります。周辺に迷惑をかけぬよう、規制値以下で使用されることが必要です。状況に応じ、音壁を設けて作業してください。

作業場所の安全を確かめる!

- 作業場所は十分に明るく、いつも整理整頓に心がけてください。
- 作業場所には関係者以外は近づけないでください。特にお子様は危険ですから注意してください。

機械の準備!

- 機能に適した用途以外や、指定外の刃物は使用しないでください。また、使用限界が表示されているものは必ずその範囲内で使用してください。
- 刃物類や付属品の取り付けは取扱説明書に従って確実に行なってください。締め付け不足や指定工具以外での締めすぎは危険です。
- ネジ類などはゆるんだり、脱落していませんか？ 運転前に必ず確認してください。
- スパナ、レンチ、ねじ回しなどの工具類は機械から取りはずしてあるか確認してください。

△ 警告

使用電源は正しい電圧で!

- 電源は必ず銘板に表示してある電圧でお使いください。表示以上の電圧で使用されると回転が異常に高くなり大変危険です。また逆に低い電圧で使用されますとモーター故障の原因となります。

プラグの差し込み!

- プラグを電源に差し込む前に、機械が突然に始動しないようにスイッチが切れていることを確認してください。

スイッチに指をかけて運ばない!

- プラグを電源に差し込んだ状態で機械を持ち運ぶ場合はスイッチに指をかけないでください。誤ってスイッチが入り思わぬ事故につながることがあります。

機械ご使用上の留意点!

- 常に足場に注意し、機械や体のバランスが保てる無理のない安定した姿勢で作業してください。
- 運転中に機械の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合は直ちに作業を中止してください。
- 機械や付属品はその能力をこえて使用したり、急激な操作はしないでください。
- 機械の運転中には刃物類や他の回転部および切り屑の排出部には手や顔などを近づけないでください。
- 使用後は必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。また、停電の際も必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

機械の保護!

- 機械は大切に取り扱ってください。誤って落としたり、ぶつけたりしますと外枠などが変形したり、き裂や破損を生ずる場合がありますので、十分ご注意ください。
- コードを持って運んだり、コードを引っぱってプラグを電源から抜いたりしないでください。また、コードを熱・油・薬品および傷つけやすいものから保護するようにしてください。
- 機械の風窓はモーターを冷やすのに必要な部分です。もし下さいだりますとモーター焼損の原因となりますので注意してください。

機械の点検・整備・保管にも気を配る!

- 点検・整備をすると、または刃物類や付属品を交換するときには必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
- 使用後の機械は手入れをし、常に最良の状態を保ってください。特にモーター部やスイッチ部のほこりは常に拭き取るよう心がけてください。
- 刃物類は常に手入れをして切れ味の良い状態でお使いください。機械に無理がかからず安全に能率よく、しかもきれいな仕上がりが得られます。
- 損傷したコードは交換または修理に出してください。
- 使用しない機械や付属品の保管場所として次のような場所は避けてください。
 - ×お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所。
 - ×温度や湿度の急変する所。
 - ×湿気の多い所。
 - ×直射日光の当る所。
 - ×揮発性物質の置いてある所。



無理な姿勢での作業は危険です。

2. ベンチグラインダーご使用上のご注意

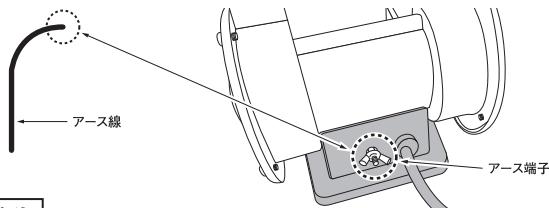
△ 警告

本機の設置!

- 本機は本体下部の2つの穴を利用して、傾斜のない平坦な作業台の上に動かないよう固定してください。

必ず接地(アース)する!

- 本機はシングル絶縁構造ですので必ず接地(アース)してください。接地する場合は、アース線を機械本体裏面のアース端子に接続してください。アース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたらアース線と機械本体の金属部(外部)間の導通を確認してください。アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店に相談してください。



△ 警告

アース線をガス管に接続すると爆発の危険性があります。絶対にしないでください。また、接地(アース)と共に感電防止用漏電しゃ断器(定格感度電流15ミリアンペア(mA)以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型)の設置された電源に接続されることをおすすめします。

漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。

労働安全衛生規則(第333条・第334条)

電気設備の技術基準(第18条・第28条・第41条)

中継コードは太く短く!

- 電源が離れていて中継コードが必要なときは、機械を最高の能率で故障なくご使用いただくために十分な太さのコードができるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ(公称断面積)と最大長さの関係

コードの太さ(導体公称断面積)	コードの最大長さ
0.75mm ²	20m
1.25mm ²	30m

△ 警告

砥石の確認!

- 砥石に割れ、欠け、亀裂のないことを必ず確認してください。
- 砥石や締め付け部品の取り扱いに注意!
- 砥石には、大きな衝撃を与えないでください。また、砥石軸、フランジ、ナットなどの締め付け部品は傷をつけたり、異物の付着がないようにしてください。

砥石の締め付けナットの確認!

- 砥石の締め付けナットがゆるんでいないか確認してください。

ホイールカバー・サイドカバーの締め付けの確認!

- ホイールカバー、サイドカバーなどは、砥石が万一破損したときに災害防止の役目をしますので、確実に締め付けられていることを確認してください。

刃物台(ツールレスト)・調整片(スパークブレーカー)の調整!

- 刃物台と砥石とのすき間は1~3mm、調整片と砥石とのすき間は10mm以下に常に調整してください。

※砥石の減りに従って調整してください。

保護具の着用!

- 作業中は保護メガネを着用してください。また、研削粉が多いときは、マスクを使用してください。

試運転の励行!

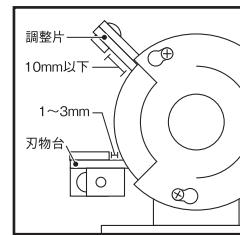
- 砥石の正面から身体を離し、1分間以上の試運転を行い異常のないことを確認してください。

研削作業は砥石の回転が安定してから!

- 研削作業はスイッチを入れたのち、砥石の回転が完全に上昇し、安定してから行ってください。

砥石の使用面は正しく!

- 砥石は外周面を使用し、それ以外の面は使用しないでください。



△ 警告

研削火花に注意!

- 研削粉は火花となって飛散します。引火の危険のある油類、ガス、接着剤、塗料などは遠ざけてください。

回転中の砥石には触れない!

- 回転中の砥石に手や衣服が巻き込まれないように注意してください。

異常時にはスイッチを切る!

- 使用中の砥石が止まったり、異音や異常振動が発生したときは、直ちに作業を中止し、スイッチを切ってください。

砥石の保管に注意!

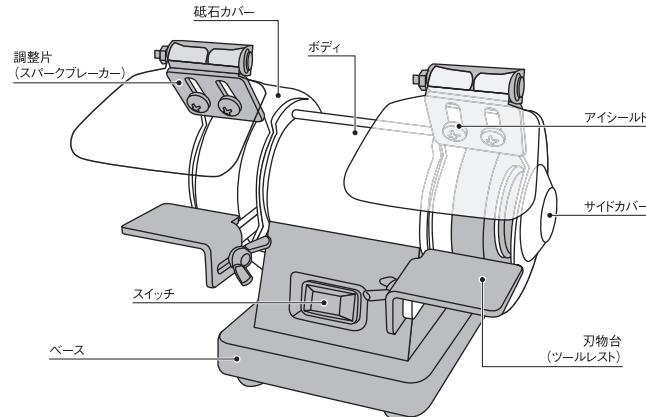
- 砥石は、湿気の多い場所に保管しないでください。

事業者の方へ

砥石の取り替え、または取り替え後の試運転について

法令、労働安全衛生法第59条、労働安全衛生規則第36条と労働安全特別教育規定1条および2条により、砥石の取り替え時の試運転は、特別教育を受けた人に行わせてください。

3. 各部の名称



4. 主要機能

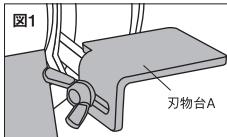
電 壓	単相100V	
消費 電 力	40W	
回 転 数	2850min ⁻¹ (50Hz)	3450min ⁻¹ (60Hz)
砥 石 尺 法		外径75mm×厚さ13mm×内径12.7mm(研削砥石) 外径75mm×厚さ19mm×内径12.7mm(フェルトバフ)
本 体 尺 法		幅165×奥行130×高さ155mm
質 量	1.8kg(コード除く)	
コ ード 長 さ	約1.8m	
定 格 時 間	15分	
付 属 品		両口スパン スパークブレーカー(調整片)、アイシールド 各2個 刃物台 2個

●改良のため、主要機能および形状などは変更することがありますので御了承ください。

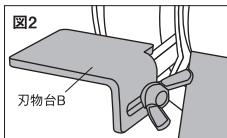
5. 組立方法

1. 刃物台の取り付け

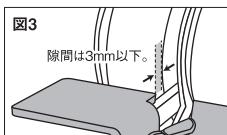
①図1の様に刃物台Aを向かって右の砥石カバーの内側に蝶ボルトと平ワッシャーで取り付けてください。



②図2の様に刃物台Bを向かって左の砥石カバーの内側に蝶ボルトと平ワッシャーで取り付けてください。



③刃物台は加工物をしっかりと保持するために、できるだけ砥石に近づくように調整してください。図3のように刃物台の端と砥石の隙間は、常に3mm以下になるように調整・維持してください。砥石が磨耗するに従い砥石径は小さくなりますので、再調整をして刃物台を砥石に近づけてください。

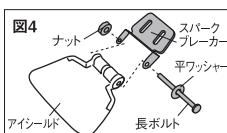


2. アイシールドをスパークブレーカーに取り付ける

①アイシールドとスパークブレーカーを図4のように長ボルト、平ワッシャー、ナットで取り付けてください。

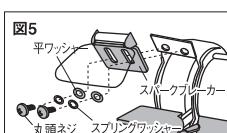
(注意)

ボルト・ナットの締め過ぎによるアイシールドの破損に注意してください。



3. スパークブレーカー(調整片)の取り付け

①図5、図6のようにスパークブレーカーを2本の丸頭ネジとスプリングワッシャーと平ワッシャーで取り付けてください。



スパークブレーカーは、作業者に火花が当たるのを防止するための物で、出来るだけ砥石に近づくように調整してください。(10mm以下)。砥石が磨耗し、砥石径が小さくなれば、このスパークブレーカーを再調整してください。

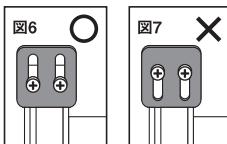
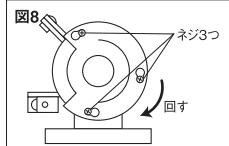


図7の様に取り付けるとスパークブレーカーの位置を変えることが出来ません。

6. ご使用方法

1. 始動・停止

スイッチはグラインダーのベース前面にあります。スイッチを「ON」側に押せば、グラインダーは始動します。スイッチを「OFF」側に押せば、グラインダーは停止します。

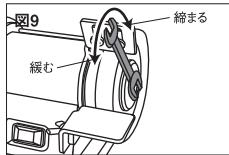


2. 作業方法

研削は、加工物を刃物台の上にのせ、しっかりと保持して行ってください。

3. 研削砥石

砥石はいつも適切な、直面し・ドレッシング(目詰まり取り)を行ってください。出来るだけ、左右のバランスをとってください。ペアリングの寿命が延び、振動も少なく、より正確な研削作業ができます。

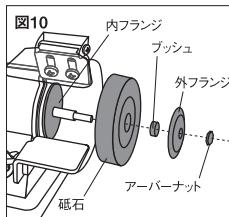


4. 研削砥石の交換



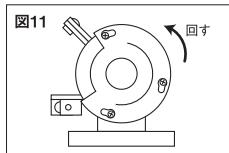
警告 砥石交換の際は必ず本体のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

①研削砥石を交換する時は、図8のようにサイドカバーを取り付けている3本のネジをお手持ちのドライバーでゆるめてください。



②サイドカバーを少し回して外し、砥石(またはフェルトパッド)が回らないよう手で保持しながら、付属のスパナでアーバーナットを緩めてください。(図9)

※グラインダーに対してアーバーナットを下に回せば緩み、上に回せば締まります。よって、左右のアーバーナットはネジの方向が逆になっています。



③アーバーナット、フランジ、砥石を外してください。また、砥石の中心からブッシュを取り出して新しい砥石に取り付けてください。砥石をシャフトに入れ、フランジとアーバーナットで締め付けてください。(図10)

重要:アーバーナットの締め過ぎに注意してください。

④図11の様にサイドカバーを取り付けてください。

⑤刃物台・スパークブレーカーを前記の要領で調整してください。

7. 用途

砥石

刃物の研ぎ直し、金属の加工、修正、バリ取り、サビ落としに。

フェルトバフ

金属、プラスチックのツヤ出しに。

下記にあるような各種研磨材を併用してください。

品名	用途
青棒	鉄・ステンレスの仕上げ磨きに。
白棒	鉄・ステンレスの粗磨きに。
赤棒	貴金属・銅・真鍮の仕上げ磨きに。
サイザー	鉄の粗磨きに。
ライム	鉄・アルミ・銅の粗・中磨きに。
ダンジー	プラスチック・樹脂の仕上げ磨きに。
トリボリ	塗装・樹脂の仕上げ磨きに。

8. 保守・点検

△ 注意

点検・整備の際は、必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

砥石が目詰まりしたままや変形したまま、ご使用になると、能率が悪くなりますので、早めに、ドレッシングや面直しを行ってください。ドレッシング後は、本機に砥粉が付着していますので、きれいに拭きとってください。

修理の際は、ご自分でならないで、必ずお買い求めの販売店までお申し付けください。